



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 芦森工業株式会社
コード番号 3526 URL <https://www.ashimori.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鷲根 成行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 百々 俊

TEL 06-6105-1863

四半期報告書提出予定日 2020年9月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,085	27.3	508		1,123		1,397	
2020年3月期第1四半期	13,872	2.8	17	81.1	47	61.5	110	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,736百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 60百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	232.87	
2020年3月期第1四半期	18.46	18.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	45,284	14,924	32.9
2020年3月期	47,884	16,804	35.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 14,879百万円 2020年3月期 16,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		25.00	25.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	17.7	1,100		1,800		2,300		383.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日発表の「営業外費用(為替差損)の計上および業績予想の公表ならびに中期経営計画目標数値の取り下げに関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,056,939 株	2020年3月期	6,056,939 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	55,296 株	2020年3月期	55,228 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	6,001,668 株	2020年3月期1Q	5,999,409 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社を取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動の停滞や個人消費の減少、雇用情勢や設備投資が弱含みになる等急速な悪化が進み、先行き不透明な状態が続いています。

このような情勢のなかで当社グループは、作業効率化による製造コスト・間接経費の削減と原価管理体制の強化に取り組むとともに、収益や成長が見込まれる分野・地域への拡販を推進し、収益の確保に努めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により生産拠点の一部稼働停止や営業活動の制限を受けた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,085百万円となり、前年同期比3,787百万円の減収となりました。

損益面については、機能製品事業は順調に推移したものの、自動車安全部品事業において主要顧客の生産停止に伴う販売低迷や一部原材料費の高騰等により採算が大幅に悪化したため、営業損失は508百万円と前年同期比525百万円の減益となり、海外連結子会社の外債建債務等の評価による為替差損643百万円を営業外費用に計上した結果、経常損失は1,123百万円と前年同期比1,170百万円の減益となりました。また、一部グループ会社の業績の悪化により繰延税金資産の回収可能性を見直したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては1,397百万円と前年同期比1,508百万円の減益となり、極めて厳しい結果となりました。

以下、各事業セグメント別に概況をご報告申し上げます。

当社は、事業本部制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車安全部品事業」「機能製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

①自動車安全部品事業

当第1四半期連結累計期間において、メキシコの現地法人は、新型コロナウイルス感染症の業績への影響は軽微でしたが、国内及び他の海外現地法人（タイ・中国・インド・韓国）では新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、主要顧客の生産停止に伴う販売低迷によりシートベルト関連、エアバッグ関連、内装品関連ともに売上が大幅に減少したほか、商品構成の変化や海外人件費の上昇等により採算が大幅に悪化しました。

この結果、当事業の売上高は6,402百万円と前年同期比3,840百万円の減収となりました。また、コスト削減、原価低減に努めてまいりましたが、新規受注獲得に向けた設備投資や一部原材料費の高騰等により、営業損失は725百万円と前年同期比683百万円の減益となりました。

当事業においては、収益確保のため、引き続き収益改善プロジェクトの推進や、技術力・品質力の向上とターゲット顧客・商品の絞り込み、グローバル管理体制の構築等、諸施策に取り組んでまいります。

②機能製品事業

バルテム関連は、下水道向けが引き続き好調に推移し、売上・利益ともに増加しました。

防災関連は、災害対策用排水ホースの需要が増加しましたが、消防用ホースの販売が低迷し、売上・利益ともに減少しました。

産業資材関連は、トラック物流省力化分野は好調に推移しましたが、高機能資材織物（タイミングベルト関連）の需要が減少し、売上・利益ともに減少しました。

この結果、当事業の売上高は3,673百万円と前年同期比45百万円の増収となり、営業利益につきましても506百万円と前年同期比132百万円の増益となりました。

当事業においては、一層の収益力向上のため、バルテム関連において増加する下水道分野の管更生需要への対応と防災関連の大口径システム・防災資機材の積極的な拡販活動に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は45,284百万円であり、前連結会計年度末に比べ2,600百万円減少しました。これは主に現金及び預金の増加3,265百万円、売上債権の減少5,285百万円、投資その他の資産の減少167百万円等が影響したものです。

負債は30,359百万円であり、前連結会計年度末に比べ720百万円減少しました。これは主に短期借入金の増加1,663百万円、固定負債の増加712百万円、仕入債務の減少2,002百万円、未払法人税等の減少392百万円等が影響したものです。

純資産は14,924百万円であり、自己資本比率は32.9%（前連結会計年度は35.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

このたび、当社は、2020年6月17日公表の「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました2021年3月期の通期連結業績予想を開示いたしました。なお、2021年3月期の配当予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます。今後、予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

また、当社は、2019年5月10日付で「芦森グループ中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）」を公表いたしました。自動車の安全部品事業における商品構成の変化による採算の悪化や海外生産拠点での人件費増等のコストアップにより、2020年3月期の連結業績は、中期経営計画初年度目標を大きく下回りました。2021年3月期につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響で更に業績が下振れすることが予想されます。

新型コロナウイルス感染症の収束時期は現時点では見通せず、収束後の消費様式の変容も不透明であり、現時点においては中期経営計画の目標数値の達成は困難であると見込まれることから、これを取り下げることにいたしました。

通期連結業績予想及び中期経営計画目標数値の取り下げの詳細につきましては、本日（2020年8月7日）発表の「営業外費用(為替差損)の計上および業績予想の公表ならびに中期経営計画目標数値の取り下げに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,670	6,935
受取手形及び売掛金	13,837	8,637
電子記録債権	1,774	1,689
商品及び製品	2,027	1,941
仕掛品	1,290	1,337
原材料及び貯蔵品	5,905	6,485
その他	1,551	1,672
貸倒引当金	△27	△27
流動資産合計	30,029	28,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,703	5,298
機械装置及び運搬具(純額)	4,632	4,257
工具、器具及び備品(純額)	1,558	1,476
土地	2,081	2,049
リース資産(純額)	26	34
建設仮勘定	393	274
有形固定資産合計	14,397	13,391
無形固定資産		
のれん	1,088	1,047
その他	392	363
無形固定資産合計	1,480	1,411
投資その他の資産		
投資有価証券	1,216	1,246
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	509	327
退職給付に係る資産	12	20
その他	253	226
貸倒引当金	△16	△12
投資その他の資産合計	1,977	1,810
固定資産合計	17,855	16,613
資産合計	47,884	45,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,535	4,566
電子記録債務	4,937	3,903
短期借入金	6,831	8,495
1年内返済予定の長期借入金	980	1,058
リース債務	13	13
未払法人税等	662	270
引当金	726	441
その他	2,473	1,980
流動負債合計	22,161	20,728
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	3,433	4,113
リース債務	31	38
繰延税金負債	144	181
退職給付に係る負債	2,193	2,183
資産除去債務	29	29
その他	85	84
固定負債合計	8,918	9,631
負債合計	31,080	30,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,388	8,388
資本剰余金	1,632	1,632
利益剰余金	7,197	5,649
自己株式	△165	△165
株主資本合計	17,052	15,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140	188
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	△234	△626
退職給付に係る調整累計額	△195	△187
その他の包括利益累計額合計	△286	△625
新株予約権	21	28
非支配株主持分	16	16
純資産合計	16,804	14,924
負債純資産合計	47,884	45,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	13,872	10,085
売上原価	12,302	9,286
売上総利益	1,570	798
販売費及び一般管理費	1,552	1,307
営業利益又は営業損失(△)	17	△508
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	4	5
為替差益	48	-
その他	49	84
営業外収益合計	109	96
営業外費用		
支払利息	53	30
持分法による投資損失	17	28
為替差損	-	643
その他	8	9
営業外費用合計	79	711
経常利益又は経常損失(△)	47	△1,123
特別利益		
土地売却益	-	94
投資有価証券売却益	76	-
助成金収入	-	117
特別利益合計	76	212
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による操業停止に伴う損失	-	131
特別損失合計	-	131
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	123	△1,043
法人税、住民税及び事業税	57	208
法人税等調整額	△45	145
法人税等合計	12	354
四半期純利益又は四半期純損失(△)	111	△1,397
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	110	△1,397

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	111	△1,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117	49
繰延ヘッジ損益	△2	△2
為替換算調整勘定	61	△384
退職給付に係る調整額	1	8
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△9
その他の包括利益合計	△50	△338
四半期包括利益	60	△1,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60	△1,736
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	自動車 安全部品 事業	機能製品 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,242	3,627	13,869	2	13,872	—	13,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,242	3,627	13,869	2	13,872	—	13,872
セグメント利益又は 損失(△)	△42	374	331	0	332	△315	17

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業と売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△315百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	自動車 安全部品 事業	機能製品 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,402	3,673	10,075	9	10,085	—	10,085
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,402	3,673	10,075	9	10,085	—	10,085
セグメント利益又は 損失(△)	△725	506	△218	3	△215	△293	△508

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業と売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△293百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。